

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和8年1月9日

要望書（回答）

【継続要望】

1. 防災拠点のレジリエンス電源整備促進

災害時における市民の安心・安全を確保するため、主要避難所や公共施設に太陽光発電と電池を組み合わせた「自立型防災拠点」を段階的に整備してください。国・道の防災関連補助制度を積極的に活用し、エネルギーレジリエンスの向上を図られるよう要望いたします。

【回答】（市民生活部危機管理室 担当）

本市では、災害発生時における停電に対応するため、指定避難所である学校にガソリン式およびガスボンベ式の発電機を備蓄するとともに、一部に可搬式大型蓄電池の配備を行っているほか、市内の自動車販売店とハイブリッドカーを活用した協定も結んでおります。

市では、エネルギーレジリエンスの向上を図るため、国・道の防災関連補助制度を活用し、本庁舎や学校において太陽光発電設備を設置しておりますが、引き続き様々な情報収集を行いながら、避難所となる公共施設等への導入可能性について、関係部署と情報共有を図ってまいりたいと考えております。

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和8年1月9日

2. 公共施設への再生可能エネルギー導入および街路灯設置工事の継続発注

ゼロカーボンシティの実現に向け、公共施設への再生可能エネルギー設備およびLED照明の計画的導入を継続・加速してください。また、街路灯設置・維持工事については、従来の分離発注方式を堅持し、安定的かつ継続的な発注を要望いたします。

【回答】（環境衛生部ゼロカーボン推進室 担当）

現在実施している市有施設への太陽光発電事業につきましては、オンサイトPPA方式により10施設で太陽光発電設備を導入しておりますが、現時点では、事業性の観点などから他の施設への導入は難しいものと考えております。

公共施設の照明LED化につきましては、国の地域脱炭素移行・再エネ交付金を活用し、CO2削減の費用対効果の高い施設での更新を進めており、令和9年度まで計画的な導入を行ってまいります。

【回答】（都市建設部維持課 担当）

苫小牧市が管理する街路灯は、おおよそ6200灯あり、平成29年度よりLED化への更新事業に着手しております。令和7年度は190灯の街路灯についてLED化を進めており、工事による進捗率は33.2%でございます。次年度以降につきましても継続して照明灯のLED化を進めてまいります。また、道路照明灯の老朽化に伴う更新事業及び道路照明灯の維持管理業務につきましても、継続して進めてまいります。

3. 電気工事・電気通信工事における地元企業の積極的活用

大型案件やプロポーザル方式、PFI・メーカー発注方式等においても、地企業の参画機会を確保するよう契約条件や公示内容に明記し、地域経済循環の促進を図ってください。

【回答】（財政部契約課 担当）

本市の工事発注につきましては、苫小牧市公契約基本方針に基づき、競争性を確保しつつ、地元企業の優先活用を図っておりますが、大型案件やプロポーザル方式、PFI方式等の発注におきましても、施工協力会社の参加要件を地元企業と設定するなど、引き続き担当課と協議し、地元企業の積極的な活用に配慮してまいります。

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和8年1月9日

4. 早期発注および施工時期の平準化

市内事業者の健全な経営と安全で高品質な施工確保のため、予算成立後の早期発注を徹底し、年度内における施工時期の偏在を防ぐための平準化を一層推進してください。

【回答】（財政部契約課 担当）

平準化率に大きく影響する予算成立後の早期発注につきましては、毎年、年度当初の4月に発注計画を示し、今年度は上半期で92%程度の目標発注率を設定して早期発注に取り組んでいるところです。

また、施工時期の平準化につきましては、各施設所管課における整備計画等により施工時期が決定しているものもありますが、引き続き施工時期の平準化について関係各課へ要請してまいります。

（都市建設部設備課 担当）

電気工事につきましては、年度により事業規模が大きく変動することや、補助金を活用することから交付決定後の発注になるため、施工年度や時期の平準化並びに早期発注が難しいことをご理解いただければと思います。

本市においては、そのような制限があるなかにおいても、過去5年間の設備関係工事の発注率は7月までに約70%となっており、可能な限りの早期発注と平準化に努めております。

今後も一定の施工制限がある工事を除いては、早期発注及び施工時期の平準化を図ってまいります。

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和8年1月9日

5. 技術者専任に係る柔軟な取扱い

地域建設業の実態を踏まえ、建設業法施行令第27条第2項の運用においては、法令の趣旨を尊重しつつ、現場の実情に即した柔軟な対応をお願い申し上げます。これにより、安全・品質の確保と地元企業の負担軽減を両立させてください。

【回答】（財政部契約課 担当）

本市の発注工事における主任技術者等の配置につきましては、建設業法及び建設業法施行令の規定に基づくものとなっております。建設業法施行令の改正に伴い、本市においても令和7年3月に主任技術者及び現場代理人の兼任が可能な金額基準を引上げ、技術者の配置要件を緩和したところです。

今後も建設業法施行令第27条第2項に関する国の取扱いの変更等を注視するとともに、国の基準に基づき、柔軟かつ適切な運用に努めてまいります。

6. 適正価格の確保と物価変動対応の徹底

資材・労務費高騰に対応するため、「契約後の物価スライド条項」の柔軟かつ積極的な運用を求めます。また、進捗報告や協議の場を定期的に設け、実勢価格変動に応じて速やかに請負代金額の見直しを行う体制を整備してください。

【回答】（都市建設部設備課 担当）

適正価格の確保と物価変動への対応については、長期間（2か年以上）にわたる工事において、工事請負契約書に関する規定に基づき、インフレスライド等の請負金額の変更を請求できることとしております。

担当課としましても、引き続き適正な積算に努めるとともに、現場進捗状況や実情について協議の場を定期的に設けることで、可能な限り設計価格と市場価格の乖離を縮小できるよう努めてまいります。

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和8年1月9日

【新規要望】

1. 地域を担う技術者の育成と技能継承支援

技術者の高齢化と若年層の建設業離れが進む中、地域インフラを支える人材確保が急務です。市内工業高校・高専との連携を強化し、電気工事士養成のための実習・インターンシップ機会を拡大してください。併せて、資格取得支援制度の創設や、業界の魅力発信への市の協力を要望いたします。

【回答】（産業経済部工業・雇用振興課 担当）

市内のあらゆる業種において人手不足が深刻化・慢性化しており、特に、建設業においては、技術・技能職を志す若年層の減少と熟練技能士の高齢化により人材確保に苦慮されているものと認識しております。

技術・技能人材の確保については、ものづくり産業の担い手育成の一環として、北海道立苫小牧高等技術専門学院入校生への奨励金により支援を行っているほか、就業支援事業を通じて、若年層の建設業への入職促進に取り組んでいるところです。

今後につきましても、北海道立苫小牧高等技術専門学院の入校促進に取り組むとともに、苫小牧工業高等学校や苫小牧工業高等専門学校とも情報交換を行いながら、若手人材の確保・定着に努めてまいります。

2. 雪害・凍結対策としてのスマート融雪インフラ導入

路面凍結事故防止と老朽融雪設備の効率化を目的に、AI 気象予測と連携する省エネ型「スマート融雪システム」を、病院周辺や主要交差点など重点地域から導入してください。導入にあたり、市独自の補助枠や国庫補助の活用を検討いただきたく要望いたします。

【回答】（都市建設部維持課 担当）

市道の融雪施設につきましては、歩行者の転倒事故を防ぐ目的としてアンダーパスや横断歩道橋に降雪センサー付ロードヒーティングを設置しております。

ロードヒーティングは、冬期間の歩行者の安心安全を確保するために必要不可欠な施設である一方で、電気代が嵩み、維持管理に苦慮しているところがございますが、ご提案いただきました「スマート融雪システム」は、大きな節電・省エネ効果が期待できる有効な手段であると考えておりますので、まずは施設の老朽化に伴う更新時の導入の可能性について検討を進めてまいります。

団体名：苫小牧電業協会

回答日：令和8年1月9日

3. スマートシティ電化プロジェクトの推進と多機能化

防犯カメラ・Wi-Fi・非常用電源を備えた「多機能スマートポール」への街路灯更新を推進し、観光地・商業施設周辺をモデル地区として整備してください。国のスマートシティ関連補助金の活用を含め、地域の安全性・利便性・デジタル化を一体的に進める体制構築を要望いたします。

【回答】（市民生活部市民生活課、危機管理室 担当）

多機能スマートポールは、通信機器やカメラ、スピーカー、非常用電源等を一体的に搭載し、平時の見守りや防犯、災害情報の伝達や停電時の照明確保等、複数機能をもった有効な仕組みであると認識しております。

一方で本市では、限られた予算の中でより多くの防犯カメラを整備するとともに、防犯灯についても既存設備の更新を優先して取り組むなど、広範囲への迅速な整備に努めております。

また、災害情報の伝達につきましても、市内全域に防災行政無線を整備したところであり、現状においては、設置や維持管理に多額の費用を要する多機能スマートポールの導入は、難しいものと考えております。